

富医ニュース

No.620 令和5年2月1日

一般社団法人 富田林医師会
 会長 藤岡 洋
 〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
 TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
 E-mail : mail@tondabayashiishikai.jp

年末年始休日診療所 受診者数

今年は12月から休日診療所に発熱外来が併設されたため、年末年始の受診者数は昨年より微増しておりました。

受診者数は

年	令和4年			令和5年			合計
月	12			1			
日	29	30	31	1	2	3	
受診者数	35	54	56	57	68	69	339

発熱外来での検査件数と新型コロナ及びインフルエンザの陽性件数は以下となりました。

新型コロナの陽性者数もインフルエンザの陽性者数も年始に向けて増加傾向となっております。

検査数	29	33	42	52	58	63	277
CoV+	18	26	24	32	28	31	159
FluA+	1	3	4	8	12	15	43

小児救急も昨年と比べて受診件数が増えており、一日平均で95人受診されておりました。

9時-16時 診療

	R4
12月29日	49
12月30日	71
12月31日	95
1月1日	65
1月2日	88
1月3日	82
計	450
1日当たり	75.0

16時-20時 診療

	R4
12月29日	14
12月30日	13
12月31日	11
1月1日	3
1月2日	14
1月3日	11
計	66
1日当たり	11.0

20時-翌8時 診療

	R4
12月29日	11
12月30日	14
12月31日	5
1月1日	12
1月2日	4
1月3日	7
計	53
1日当たり	8.8

出務された先生方お疲れさまでした。休日診療所での発熱外来は2月19日まで継続の予定です。

ご協力の程よろしくお願い致します。

調整日

1月分 2月8日(水)
PM3:00まで

2月分 3月8日(水)
PM3:00まで

2月の予定

8日(水)・調整日

9日(木)・学術講演会

10日(金)・理事会

20日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会

21日(火)・広報調査委員会

24日(金)・広報調査委員会
(校正)

28日(火)・休日診療委員会



令和5年 1月定例理事会

日 時 令和5年1月13日(金)

13:30~15:00

場 所 医師会 大会議室

会長挨拶

報告事項

- 1) 喘息病診連携検討会 2月16日
- 2) 病診連携研修会 3月16日
- 3) 予防接種説明会、外来感染対策カンファレンス
3月28日(感染症対策委員会)
- 4) 医師資格証について
- 5) 多職種連携研修会
- 6) 令和4年医師、歯科医師及び薬剤師の届け出への協力について
- 7) オンライン資格確認の導入の原則義務付けに係る経過措置について
- 8) 大阪府医療機関等物価高騰対策一時支援金事業の実施について
- 9) 令和3年度会計における訪問看護ステーション法人税負担分の処理について
- 10) 令和4年度子ども予防接種週間の実施について
- 11) 令和4年度 南河内医療・病床懇話会→藤岡会長・赤松先生
- 12) とんだびやし健康市民フォーラム「出張型健康啓発」
2月9日 →今城(保)先生、坂口先生
- 13) 令和4年度富田林市障がい者地域自立支援協議会第1回代表者会議 2月9日 →藤岡会長
- 14) 令和4年度DV対策連絡会議実務者会議→福田先生

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 太子町健康マイレージ事業「たいしくんスマイル」
後援名義使用願いについて
- 3) 河南町障がい福祉計画策定委員の推薦について 前田先生
- 4) 後期高齢者広域連合の健康診査におけるフレイル健診について

富田林医師会学術講演会

日時 令和5年2月9日(木) 14:00~15:00

会場 医師会 大会議室

本講演会は『Zoomウェビナー』にて、webでも
ご覧頂けます。お申込みは別紙参照

座長 いまじょう医院 今城 幸裕 先生

演題 「地域で取り組む慢性腎臓病(CKD)診療」

演者 PL病院 腎臓内科

副医長 兵頭 正浩 先生

慢性腎臓病の有病率は高く、成人のおよそ8人に1人の割合であると言われている。高齢になるにつれ有病率も上昇すると考えられており、富田林市も高齢化が進行しているため地域を挙げての治療が必要になってきている。慢性腎臓病の加療は生活習慣の見直しを始めとし、原因の精査や薬物療法、さらには腎代替療法と多岐にわたっている。また、心血管疾患の合併症の予防、骨代謝、鉄代謝の改善に至るまで集学的な治療が必要となってきている。今回PL病院が地域の医療機関と連携し、慢性腎臓病加療に協力できる提案を行い、病院紹介と共に、昨今上市されてきている治療薬(SGLT2、ミネラルコルチコイド拮抗薬、HIF-PHD阻害薬、カリウム吸着薬等)を中心に慢性腎臓病の加療のup to dateをとともに継続していく所存である。

※本講演会は大阪府医師会生涯研修システム登録研修として申請予定です。

カリキュラムコード:73(慢性疾患・複合疾患の管理 1単位)



とんだばやし喘息病診連携検討会

日時 令和5年2月16日(木) 20:40~22:00

会場 医師会 大会議室(開場 19:45)

開会挨拶 近畿大学病院

総合医学教育研修センター

副センター長 岩永 賢司 先生

レクチャー 座長: 仲谷診療所 仲谷 宗裕 先生

「ガイドラインから診る喘息治療

~PGAMを踏まえて~」

近畿大学病院 病院長 東田 有智 先生

閉会挨拶 「本日の振り返り」

富田林医師会 会長 藤岡 洋 先生

※医師会生涯研修(12地域医療、79気管支喘息・COPD)に申請予定です。

後期高齢者健康診査における フレイル健診についての周知とお願い

日頃は各種健康診断をはじめとした医師会の業務にご協力いただき、ありがとうございます。昨年より富医ニュースでもお願いしておりますとおり、大阪府後期高齢者医療広域連合・大阪府医師会・富田林市の依頼を受け、当医師会としてフレイル健診後の体操指導を当医師会としてどのように構築していくか、検討してきました。

まず昨年の富医ニュースNo.615に掲載いただきましたが、その後もできるだけ健診の先生方に運動指導がしやすい環境を整えるためにはどうすればいいかを考えて、以下の施策を提示します。

1. 一番ありがたいのは健診をされた先生が「その場で」該当者の方に運動指導を行ってもらうことです。そのため配布済みのリーフレットを参考にして指導していただければ幸いです。また令和5年度から配られる受診者への質問票の裏面にはこのリーフレットと同じものが印刷されてきます。それを使っていただいても結構です。
2. 整形外科以外の先生方からは、見よう見まねで教えて、かえって痛がられたら困るからやりにくい、という意見をいただいております。ですが教えていただくことは

単純にスクワットと片脚立ちを、椅子や机の横で転倒しないように行っていただくだけですので決して特殊なことではありません。それでも心配だといわれる先生方には私、山本が先生方の施設までお伺いして、健診医の先生や施設のスタッフに体操の指導方法を教えに行かせてもらおうと考えております(費用はかかりません。)私に来てもらうほどでもないといわれるのであればメールで質問を承りますので、指導していただいて疑問や問題がでたときは些細なことでもどんどん聞いてもらえるようにしようと考えております。

3. 当医師会で整形外科を標榜している医療機関にアンケートを行い、現在以下の施設で該当者に対し運動指導を行えるという回答をいただいております。

*青山整形外科(若松町西)

*明石整形外科クリニック(寺池台)

*宮田医院(小金台)

*やまもと整形外科医院(桜井町)

ご自身では指導は難しいと思われる場合は上記の施設にご紹介いただいても構いませんのでよろしくお願いたします。なおこの場合、状況や施設によっては診察・治療扱いとなることを申し添えます。

指導してほしいのは、普通に歩いてこられた方のうち、「歩行速度が落ちた」、「転倒したことがある」、「運動習慣がない」に該当する方です。悪くなる前に指導していただくことが大事なのです。悪い方には無理をささずに整形外科にご紹介ください。この地域の皆さんが転倒せず、できるだけ元気に生活していけるように、先生方のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

(山本善哉)

バトンタッチ(第5回)

前回まで海外旅行のお話だったので、思いついたことを書きます。コロナが流行りだす前の年に長女の結婚式をハワイでやったことがいい思い出となっています。(一年遅れていたら海外へ行くことができなかつたです。)開業してからはお盆とか正月とかにしか長期休みが取れないので、ふだん皆さんが仕事をしている時に休みを

取って、海外旅行に行くというのはぜいたくなことだ
 と思います。(費用も安かったです。)海外へは今まで
 数回しか行ったことがないです。私の友人の耳鼻科の
 先生は今まで30回以上(もしかしたらそれ以上)行って
 います。フィンランドに行った時のオーロラが素晴らしか
 ったそうです。私ももう何回か海外旅行に行ってみたい
 です。海外旅行の話はこのぐらいにして、私の開業の
 話をしてみたいと思います。興味ない方にはすみません。

勤務医を7年程したころ、ふとこのまま定年まで勤務
 医を続けていっていいものか考えました。語弊がある
 かもしれませんが、少しずつ勤務医に飽きてきたと言っ
 てもいいかもしれません。ちょうどその頃医局の先輩の
 先生方が一人二人と開業されるのを見て、自分もやっ
 てみたいなあと思ったのがきっかけです。富田林という
 場所はほとんど知らない土地でした。(私の兄が昔、富
 田林の駅の近くの塾講師をしていたことと、PLの花火
 くらいしか情報はありませんでした。)開業の場所を最
 初に見てあぜんとしたのは前が一面の田んぼだったこ
 とです。こんな所でやっても患者さんはくるのかなあと
 思い、もしだめだったらまた勤務医に戻ろうという甘い
 考えで始めてしまいました。最初はほとんど患者さんは
 来ませんでした。半年、一年と我慢してやっているうち
 に少しずつ増えてきて、なんとか軌道に乗ってきました。
 その当時は、どこのクリニックもそうだったかもしれま
 せんが、いわゆるサロン(お年寄りの集いの場)となってい
 たいと思います。「〇〇さん、今日来てないよ。」「病気か
 もしれないね。」という笑い話のようなことも現実にあ
 りました。そうこうしているうちに周りにたくさんのクリ
 ニックができ、私のクリニックは私の年齢とともに衰退して
 います。まあこれでいいと思っています。私の人生の
 大部分は開業医として過ごすことができ満足しています。
 皆さんはどうですか。これから、患者さんが来てく
 れている間は、また赤字にならなければ、もう少し続けよう
 かなと思っています。(雄)



1 月 行 事 ・ 会 合

- 5日(木)・事務局仕事始め
 ・休日診療委員会
- 6日(金)・調整日
- 10日(火)・学校医部会
- 13日(金)・理事会
- 16日(月)・訪問看護ステーション運営委員会
- 24日(火)・広報調査委員会
 ・感染症対策委員会
- 27日(金)・広報調査委員会(校正)
- 28日(土)・新年互礼会
- 31日(火)・休日診療委員会

原稿投稿のお願い

富医ニュースを今後さらに充実したものとする
 ために、会員の声・意見、研究報告、紀行文、感
 想文、思い出、随筆、詩、短歌、俳句、写真等
 の様な内容でも結構ですので医師会事務局まで
 ご投稿お願いします。

(広報調査委員会)

- 会員数(2月1日現在) 172名
 A会員 93名 B会員 78名 C会員 1名
- 入会 なし
- 退会 なし
- 異動 なし

広 報 調 査 委 員 会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	今城 幸裕
	植村 匡志	江村 俊也	奥野 敦史
	尾多賀 雅哉	遠山 佳樹	中村 元
	藤岡 洋	山本 善哉	山本 秀文